

ECFA-IC Net 共催 PCM 手法研修

概要

PCM (Project Cycle Management)手法とは、開発援助プロジェクトの計画・実施・評価という一連のサイクルを「プロジェクト・デザイン・マトリクス (PDM) 」と呼ばれるプロジェクト概要表を用いて管理運営する方法です。その主な考え方は、欧米のドナー・新興援助国においても一般的概念として導入されており、わが国では主に JICA 技術協カプロジェクトの運営管理の基本的ツールとして定着しています。(http://www.fasid.or.jp/training/4_index_detail.shtml FASID ホームページ参照) JICA の開発援助プロジェクトを実施するコンサルタントにとっても必要不可欠なスキルです。

開催概要

計画・立案コース

日時： 2019年6月17日～19日【3日間】 10:00-17:30

場所： 当協会会議室 (東京都港区西新橋 1-6-13 虎ノ門吉荒ビル 7F)

対象： 開発途上国の開発援助に携わる方

受講料： <ECFA 会員> ¥43,200 <一般> ¥66,000

※受講料には、テキスト・資料等の教材費・消費税が含まれています。

締切： 2019年6月3日(月) 17:00

注意事項： 続けて6月27日からの「モニタリング・評価コース」の受講を希望される方は、申込書にチェックを入れてください。「計画・立案コース」の合格確定時に「モニタリング・評価コース」の受講確定とさせていただきます。

モニタリング・評価コース

日時： 2019年6月27日、28日、7月1日、2日【4日間】10:00-17:30

場所： 当協会会議室 (東京都港区西新橋 1-6-13 虎ノ門吉荒ビル 7F)

対象： 国際協力の仕事に従事している、または、今後従事することを予定している方で、PCM 手法の計画立案コースを修了している方

受講料： <ECFA 会員> ¥54,000 <一般> ¥80,000

※受講料には、テキスト・資料等の教材費・消費税が含まれています。

締切： 2019年6月13日(木) 17:00

修了条件

各コースとも、研修日程の 8割以上の出席、且つ修了試験で80点以上取られた方には、ECFA / IC Net より PCM 研修 (計画・立案コース) 修了証を発行いたします。

カリキュラム

計画・立案コース

以下3点を目標に以下のカリキュラムで実施します。

- ・PCM 計画・立案の概念・内容を理解し、説明できる。
- ・6段階の主要な手法を説明できる。
- ・国際協力業界の共通言語である PDM を読む・作成できる。

日数	内容
1日目	初めに「PCM手法概論」で、PCMの基本的な考え方や特徴、計画・立案のプロセスについて講義形式で学びます。その後、グループ別に、事例を使ってそのプロセスをワークショップ形式で習得します。PCM計画・立案の最初のステップは、関係する個人や組織の確認、また、その特徴や現状を把握し、ターゲットグループを仮決めします（関係者分析）。次に、ターゲットグループの抱える問題を、「原因－結果」の関係で論理的に整理し、系図を用いて視覚的に表示します（問題分析）。
2日目	1日目に作成した「問題系図」をもとに、問題が解決された将来の状況を、「手段－目的」の関係で系図に示します（目的分析）。目的分析で考えられた問題解決手段をいくつかのアプローチに分けて比較検討し、プロジェクトの枠組みとして最も適切と考えられるものを選択します（プロジェクトの選択）。
3日目	PDM（Project Design Matrix）の書式に沿って、2日目に選択されたプロジェクトの枠組みを具体化していきます（PDM作成）。

モニタリング・評価コース

以下4点を目標に以下のカリキュラムで実施します。

- ・JICA技術協力プロジェクトにおけるモニタリングの現状を理解する。
- ・PDMからWBSを作成し、モニタリングができるようになる。
- ・JICA技術プロジェクト評価で活用されている「評価5項目」を説明できる。
- ・プロジェクト評価の流れを説明できる。

日	内容
1日目	初めに「モニタリング」で、モニタリングの基本的な考え方、PCM手法の欠点、そして効果的な業務用ツールについて講義形式で学びます。その後、事例を使って、グループ別にモニタリング業務のプロセスについて演習を通して習得します。まずは、モニタリングにとって最も重要な要素の一つである、スコープ定義とそのためのツールであるWBS(Work Breakdown structure)の作成方法について演習を通して学びます。次に、WBSからPO(Plan of Operation)を作成する際に活用できる技法として、ワークパッケージ、マイルストーンやネットワーク手法を学びます。これらを通して、PDMのようなログフレームから合理的な実施計画を作成する手順を理解します。
2日目	1日目に続き、モニタリングのプロセスを学びます。プロジェクトのモニタリングは、プロジェクトの行うことだけでなく、それ以外の要因を「リスク」として管理します。ここでは、リスクを管理するための準備のあり方を学びます。様々なリスクをどのように仕分けるか、また、リスクごとの対応策の考え方について演習を通して学びます。ここまでは、いわばモニタリングのための準備のプロセスです。これらを終えて、いよいよ、モニタリングの実施の段階に入ります。実際にプロジェクトが進んでいろいろなことが起こったという設定のもと、1-2日目を通して作成したモニタリング計画に沿って、計画と実績の差の確認、その後の対応策の検討を、演習を通して学びます。
3日目	初めに「評価概論」で、PCM手法による評価の基本的な考え方と評価業務のプロセスについて講義形式で学びます。その後、グループ分かれ、モニタリング演習で用いた事例を使い、実際の評価を模擬的に演習します。まずは、評価5項目に沿って、適切な評価を行うために必要な情報、その情報の収集先と収集方法などを検討し、「評価グリッド」に取りまとめます。次に、評価グリッドに基づいて情報収集を行い、収集情報・データと評価項目を連携付ける作業を行います。
4日目	3日目に続き、評価業務のプロセスを学びます。評価に必要な情報とデータが収集された後、これらの情報・データに基づいて、評価判定、そして教訓と提言の策定のプロセスを体験します。まず、前日の段階で得られた情報に基づいて、評価項目ごとの評価判定と判定根拠の明確化の作業を行います。次に、評価全体を総括する「総合結論」を作成します。あわせて、これらの評価分析・判定の作業を通して抽出されたプロジェクトにとって重要な促進要因と阻害要因を明らかにします。これらの促進要因と阻害要因をさらに検討することから、提言と教訓を導きます。

※プログラムはやむを得ない事情等により変更することがあります。また、進捗状況により、研修時間が多少前後する可能性もあります。予めご了承ください。

※長時間の研修となりますので、リラックスした服装でお越し下さい。



お申込み方法

受講申込用紙 (<http://www.ecfa.or.jp/japanese/hrd/index.htm#pcm>) に必要事項をご記入の上、Eメール(kono@ecfa.or.jp)にて、応募コースの締切日までにお申込み下さい。「モニタリング・評価」を希望の方は、「計画・立案コース」の修了証のコピーを添付してください。なお、本研修は、講師の急な予定変更などが生じた場合、実施予定人数に満たない場合は、開催を中止させていただきますのでご了承ください。中止決定の際は、すみやかにお知らせし受講料はお返し致します。

送付先 (一社) 海外コンサルタンツ協会 河野 (こうの) 宛
E-mail : kono@ecfa.or.jp

※受講の可否についてはお申込み締切後、応募者全員にEメールにて連絡いたします。

※受講決定者には請求書を送付致します。受講料は、請求書に記載の期日までに銀行振込にてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金いたしかねますので、ご了承ください。

※1社より複数お申込み頂く場合には、社内にてお取り纏めの上、受講優先順位をつけて下さい。

※定員を上回った場合は締切日より早く受付を終了する場合がございますのでご注意ください。

<個人情報の取り扱いについて>

提出いただいた「申込書兼履歴書」の個人情報は、本研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理致します。

お問合せ・お申込先

一般社団法人海外コンサルタンツ協会 担当：河野

TEL : 03-3593-1171 FAX : 03-3593-1172 E-mail : kono@ecfa.or.jp